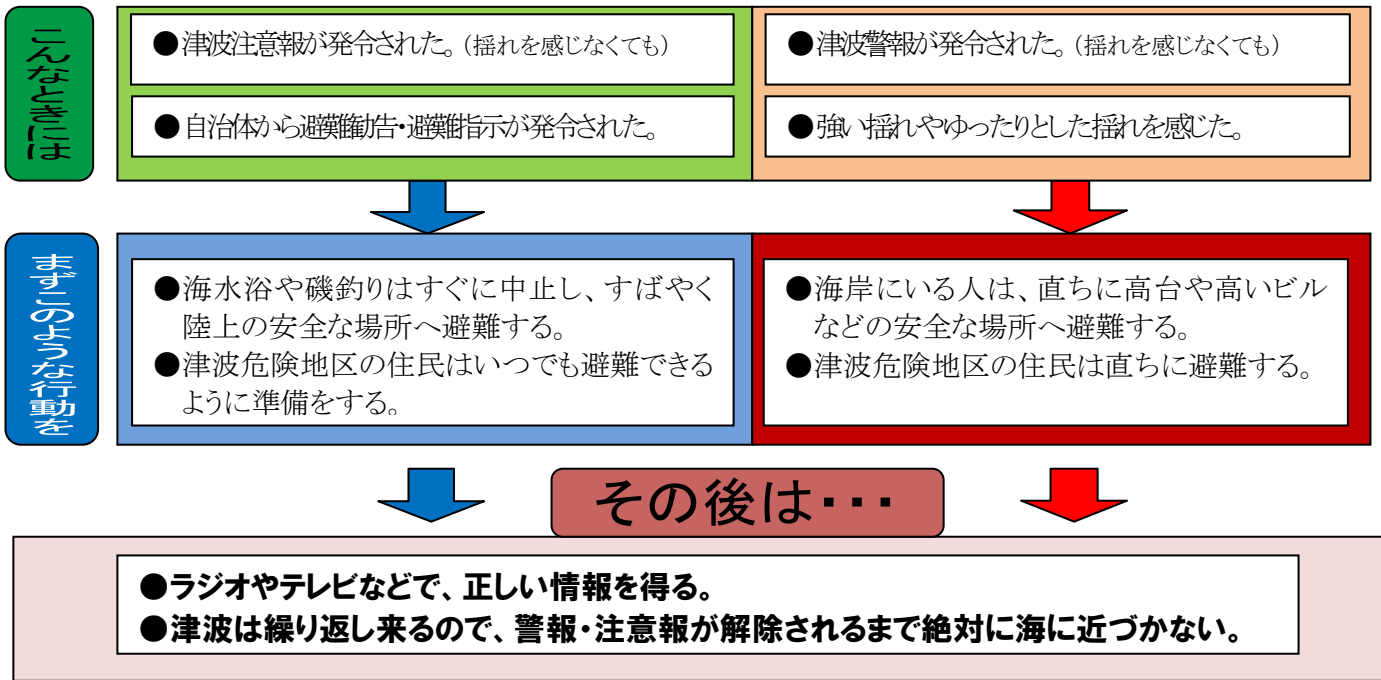


津波だ！すぐに高い場所に避難

津波は恐るべき破壊力で人や家屋をのみ込んでしまいます。地上に押し寄せる波だけではなく、海へと引き返す波も大変強力で、何度も繰り返すのが特徴です。津波の特徴を理解し、落ち着いて行動できるようにしましょう。

津波から身を守るには「逃げる」しかありません。早めに避難をして身の安全を確保しましょう。



覚えておこう！津波予報の種類

津波による災害の発生が予想される場合に、地震が発生してから約3分で津波警報(大津波、津波)又は津波注意報が、気象庁より発表されます。

種類	予想される津波の高さ		予想される被害
	数値での発表基準	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流出し小型船舶が転覆する。

「避難勧告」と「避難指示」の違いについて

災害時に、市長が市民の方に「避難勧告」「避難指示」を発令することがあります。これらの違いをあらかじめ理解しておくことが、「自らの身を守る」ことにつながります。

【避難勧告】

居住者に対し、避難場所へ向かうよう、勧め促すものです。

【避難指示】

被害の危険が切迫したときに発せられるもので、「避難勧告」より拘束力が強くなります。

